



第二回

阿波秘曲「紅葉合」

四季屏風
作家蔵
蜂須賀齊裕画像
当館蔵

いにしへ
古の歌を紡いで

2017. 11/19日
14:00PM開演

会場 = 徳島城博物館ラウンジ

●入館料 / 大人500円 高・大生300円 小・中学生無料
※20名以上の団体は2割引



猪井恵朱

仁木古都風

吉崎夕華

木南征山

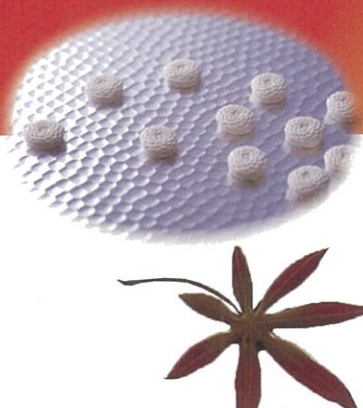
Program 「嗟峨の調」
「春の夜」
「六段」
「紅葉合」

箏 : 猪井恵朱、仁木古都風、吉崎夕華
朱音会 (白田智朱、増田規朱、柿原箏洋
喜多はるみ、多田啓夏、多田光葉)
尺八 : 木南征山
和三盆のお話 : 友江昭人
漫画本 : ほんちゅ

協力 : ジャポニスム振興会、(有)友江製糖所

徳島市立 徳島城博物館

〒770-0851 徳島市徳島町城内1番地の8(徳島中央公園内)
TEL (088) 656-2525 FAX (088) 656-2466
<http://www.city.tokushima.tokushima.jp/johaku>



箏曲 阿波秘曲「紅葉合」

—師匠から弟子、そして未来へ—

今年も木村英輝氏のあでやかな屏風を背景に心を込めて演奏致します。今回はこの「紅葉合」を子供達にも知ってほしく、漫画本にしてみました。徳島を代表する阿波和三盆糖のお話しと共にゆったりとした秋の一日を楽しんでいただけましたら幸いです。

猪井 恵朱

猪井 恵朱 (箏)

(一財)日本当道音楽会所属。朱音会主宰。阿波秘曲「紅葉合」16人目伝承者。徳島県邦楽協会常任理事・三曲部門長。徳島県三曲協会理事。「邦楽を愛好する子ども育成会」会長。徳島県芸術文化奨励賞受賞。「とくしま芸術文化賞」(徳島県文化振興財団)受賞。

仁木古都風 (箏)

日本当道音楽会所属古都和会主宰
徳島県邦楽協会顧問
徳島県三曲協会常任理事

ほんちゅ (漫画本)

東京在住のフリーイラストレーター。2016年NHK薄い本「にゃんぼー!」レポート漫画、コミックマーケット91カタログ4コマ漫画担当。個人サークル「Day Of The Dead」でコミケ等イベント参加中。



木南 征山 (尺八)

尺八奏者。徳島城博物館で毎年開催されている「華麗なる技の競演」をはじめとする邦楽ライブに、これまで多数出演。

吉崎 夕華 (箏)

日本当道音楽会所属古都和会
徳島県邦楽協会理事
徳島県三曲協会理事
徳島県立富岡東高校羽ノ浦校箏曲部講師
阿南市立那賀川中学校箏曲部講師

友江 昭人 (和三盆のお話)

阿波市土成町でさとうきびの栽培からの一貫生産にこだわり、機械化を進めながら昔ながらの製法に由来する造り方で時代に合った和三盆糖を生産し、後世に残す努力をしています。

木村 英輝

1942年大阪生まれ。京都市立美術大学図案化卒業後、同大講師を務める。日本のロック黎明期に、オルガナイザーとして数々のイベントをプロデュース。還暦より絵師に。手がけた壁画は国内外で100ヶ所を超える。ロックと共に歩んできた半生は躍動感あふれる画面にもあらわれる。アトリエでキャンバスに向かうのではなく、「ライブ」な街に絵を描きたい。究極のアマチュアリズムを標榜する異色の絵師。



四季屏風

曲目解説

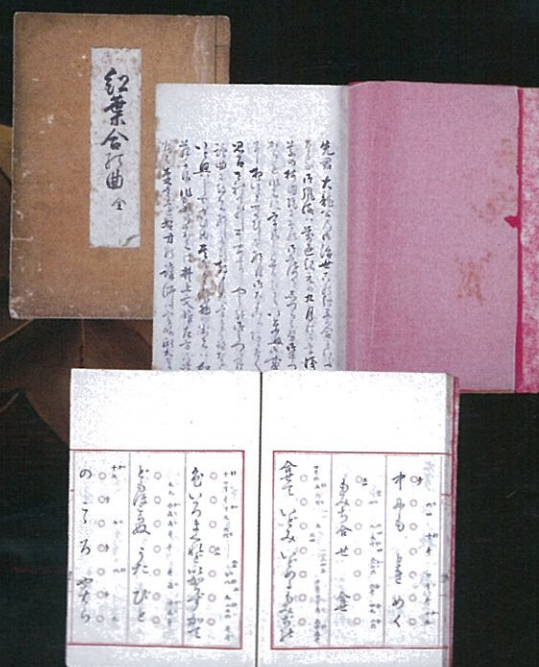
小川 裕久 (徳島城博物館)

「紅葉合」

阿波の秘曲とされる「紅葉合」は、万延元年9月に13代藩主蜂須賀斉裕が、浅草の梅園院で行われた紅葉の歌合(左右に分かれた参加者が、詠んだ和歌の優劣を競う文学的遊宴)に由来する。この歌合に勝利をおさめた斉裕が、これを記念して作らせたのが謡曲「紅葉合」である。明治になってこの謡曲を、松谷城隆、大崎城悦、立花丈千代の三人が箏曲に作り直し、蜂須賀邸での試奏を経て、明治17年9月28日、蜂須賀家代々を祀る国瑞彦神社の歌会の席で初演された。その後は歌会や社頭での弹奏以外、通常の席では演奏されることも少ないまま、14人目伝承者である福島ウノ氏が受け継ぐ。しかし昭和34年、ウノ氏が77歳で亡くなられたのを最後に、誰にも演奏されることのない幻の箏曲—阿波の秘曲—となってしまった。これを惜しんだ原田恵津子氏が、ウノ氏の姪にあたる福島葉那子氏から秘本の写しを譲り受けられ、「紅葉合」復曲に打ち込み、完成されたものである。

「嵯峨の調」

徳島藩家老・稲田九郎兵衛による作詩と伝えられ、平家物語の小督のくだりに取材した内容である。文化文政期に阿波の富崎検校が作曲。往時は準秘曲に属し、権威の高い曲であったといわれている。明治の末に宮城道雄が徳島を訪れた際、この曲を知り、これにヒントを得て作曲したのが「春の夜」である。



「紅葉合の曲 全」
当館蔵 (福島葉那子氏寄贈)